

部員による不祥事に関するお詫びと今後の方針について

お詫び

この度、部員が起こしました不祥事により、日ごろよりご支援頂いている多くの皆様方に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

不祥事に関する陸上競技部としての対応、今後に向けての取り組みについてご報告させていただきます。

これまでの経緯

- 10月 7日 部員の不祥事（窃盗）による逮捕の連絡を受ける。
- 10月 8日 出雲駅伝への出場を辞退しました。
- 10月 10日 スタッフ会議にて当面の間、活動の自粛を決定しました。
幹部会議にて当該部員の退部を決定しました（卒業までは必要に応じて、当該部員の所属する学部と連携して、フォローしていきます）。
- 10月 11日
- ～10月 23日 スタッフ会議、パート別会議、全体会議を実施しました。今までの部活動の在り方の検証、今後の方針や取り組みのための期間としました。
- 10月 24日 大学（学生部）への報告書を提出しました。
- 10月31日 大学（学生部）、体育会学生本部より活動再開の了承を得ました。
- 11月 1日 全体会議で活動再開の報告を行いました。
- 11月 2日 活動を開始しました（年内の試合、記録会等への出場については辞退と致しますが、グラウンドでの練習を再開しました）。

自粛の経緯と自粛期間の活動

陸上競技部としては、部内での調査により、部活に関わる出費や当該部員の日ごろの練習での態度などから、今回の不祥事に直接つながることを前もって察知することは困難でありました。しかしながら、部員による不祥事であること、学内外の多くの方々にも多大なご迷惑をおかけしたこと等に対するけじめとして、当面の間、部活動の自粛を決定いたしました。

自粛期間中は、再発防止、今までの部活動の在り方やコーチの指導、今後の方針や取り組みについて部員、スタッフ全体で検討する時間を持つための期間といたしました。

今後の取り組み

活動再開後も、社会的な影響を配慮し、年内すべての大会、競技会、等への参加を辞退し、また年内の関学記録会を中止いたしました。なお、競技には参加しませんが、大会の運営に関わる審判員や補助員などはボランティアとしてつとめて参ります。

部内の取り組みとしては、部員間、そしてスタッフと部員とのコミュニケーションの機会を今まで以上に増やし、個々の部員の関西学院大学体育会および陸上競技部に対する帰属意識を高めて参ります。また、大学、学生本部の了承を得たうえで、活動を再開いたしました。また、個々の部員に対して、スタッフによる丁寧な指導とケアを徹底して参ります。

今回の不祥事を一つの契機として、スタッフ、部員一丸となって新しい陸上競技部の再建につとめて参る所存です。

これからも今まで以上に皆様方のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

2016年11月13日
関西学院大学体育会陸上競技部
スタッフ、部員一同